

第1期（H27～H31）の現状

■ 現総合戦略の数値目標とKPI A：達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成

政策分野	数値目標	評価
しごとづくり	雇用の場が整っていると感じる市民の割合	A
結婚・出産・子育て	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合	A
まちの活性化	上越市を暮らしやすいと感じる市民の割合	C
UIJターンとまちの拠点性	市内への観光客入込数 今後も上越市に住み続けたいと感じる市民の割合	C C

KPIの評価	しごとづくり	結婚・出産・子育て	まちの活性化	UIJターンとまちの拠点性
A	11件(46%)	8件(73%)	5件(31%)	2件(100%)
B	6(25%)	1件(9%)	8件(50%)	0件(0%)
C	7(29%)	2件(18%)	3件(19%)	0件(0%)

しごとづくり、結婚・出産・子育ては、一定程度政策効果が発現。
まちの活性化、UIJターンは、取組の強化について検討が必要。
目標、数値目標、KPIの関連性に課題。次期戦略策定時に検討が必要。

国の第2期における新たな視点

- ①地方へのひと・資金の流れを強化する（関係人口、寄付・投資等）
- ②新しい時代の流れを力にする（Society 5.0の実現等）
- ③人材を育て活かす（人材の発掘・育成、高校生の地域愛醸成等）
- ④民間と協働する（民間の主体事業の強化等）
- ⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる（女性・外国人等活躍、交流促進によるコミュニティ形成、共助互助のコミュニティ形成等）
- ⑥地域経営の視点で取り組む（多様な雇用機会創出、地域経済牽引企業の成長の促進等）

◆下線部が当市の施策に馴染むと考えられる項目

■ アンケートによる現状分析結果

- ✓ 若者の所得向上に向けた地域企業の成長に資する取組が重要
- ✓ 女性が安定的に収入を得られる環境の構築の施策が重要
- ✓ 結婚相談窓口や出会いの場づくりの取組が求められている
- ✓ 「製造業」への支援施策が重要
- ✓ 「医療・福祉分野」や「教育学習支援分野」等で、結婚後も安心して働ける環境づくりを支援する施策の検討が必要
- ✓ 若者に対する愛着を高める取組や人口減少の状況の周知する取組、活動できる機会創出の取組が必要。
- ✓ 多様な地域における取組推進の観点が必要
- ✓ 魅力的な職場を創出する施策の検討が必要
- ✓ 人口減少社会や身の丈にあったまちづくりの理解を深める取組が必要

若者世代の生活に影響の高い産業の成長促進や、特に女性の結婚後に安心して働ける環境づくり等のしごとに関する施策の強化が必要。
新たな視点として、多様な地域の取組推進や特に若者の街への愛着向上、人口減少社会の理解等の地域の活性化や人材育成の施策の検討が必要。

■ 人口の推移（各年の数値は、H27、R2の数値を基準に按分算出（実績を除く））

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
【現総合戦略の目標値】						
社人研※（H25）推計 +出生率1.68の維持	197,928	196,579	195,230	193,881	192,532	191,184
【実績】国調からの推計値 （ ）は目標値との差	196,987 (▲941)	195,475 (▲1,104)	193,777 (▲1,453)	191,835 (▲2,046)	-	-
【参考】社人研※（H25）推計	197,419	195,950	194,481	193,012	191,543	190,075
【参考】社人研※（H30）推計	196,987	195,468	193,949	192,430	190,911	189,393
【参考】社人研※（H30）推計 +出生率1.68の維持	196,987	195,537	194,087	192,637	191,187	189,737

人口減少は予想を上回る速度で進行、さらなる取組の強化が必要